

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 8月 8日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3671700205
法人名	医療法人 青鳳会
事業所名	グループホームみま
所在地	徳島県吉野川市鴨島町上下島499番地21 (電話) 0883-26-0250

評価機関名	社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
所在地	徳島県徳島市中昭和町1丁目2番地
訪問調査日	平成19年 8月 1日

## 【情報提供票より】(平成19年 4月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成14年 6月 1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	23 人	常勤 22人, 非常勤 1人, 常勤換算 1F7.5人, 2F7人, 3F8人	

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	3 階建ての	1 階 ~	3 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000~36,000 円	その他の経費(月額)	自己負担
敷 金	有( 円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	200 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要( 4月 1日現在)

利用者人数	24 名	男性 3 名	女性 21 名
要介護1	6 名	要介護2	12 名
要介護3	3 名	要介護4	2 名
要介護5	0 名	要支援2	1 名
年齢	平均 86.3 歳	最低 70 歳	最高 100 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	・医療法人 青鳳会 美摩病院	・井上歯科
---------	----------------	-------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「グループホームみま」は商店街に近く、人の往来の絶えない地区に立地している。周辺には、関連の医療機関や老人保健施設、保育所等があり、今後の地域密着型サービスの拠点としての期待がもたれる。日曜日になると、歌の好きな利用者が自主的に集まり、コーラス隊を組織しハーモニーを奏でている。職員は自然なかたちで見守り支援されている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>これまで掲げていた「理念」に、地域生活の継続支援と地域の関係性強化を合わせた理念をつくりあげている。前回の外部評価で見出された課題の改善計画が作成され実施していた。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者は、今回の自己評価にあたり厳しく評価分析し、職員間での共有と、今後の課題・改善点を見出し取り組まれている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>家族・地域住民・地元民生委員・老人会等・それぞれの方との会議は持たれているが、運営推進会議は開かれていない。また、構成メンバーには市の職員や地域包括支援センター職員の参加が望まれる。市町村担当窓口との連携はされているため、これを機に運営推進会議の開催を期待する。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>毎月、個々の利用者家族等にホーム便りを出し、ホームの暮らしや健康状態を報告している。報告から出される意見や相談を吸いあげ、直接の不安や苦情等に対しては、即対応できる内容は早急に対処している。時間を要する内容は、十分検討をして体制の見直しをしている。今後とも全職員間で内容を共有し、家族等の信頼関係を深めてほしい。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の自治会・老人会・婦人会・民生委員等、多くの方の協力を得て、お弁当を作って花見に出かけたり、お茶会を開いたりしている。近くにある保育所児童の訪問も度々あり、世代間の交流も活発である。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

（   部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	これまでの理念とあわせて、地域との関係を重視した理念をつくりあげ玄関前に掲示している。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全職員で理念を共有し、意識付けに取り組んでいる。	○	今後も継続して、理念の共有と実践に向けた職員の取り組みに期待したい。
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会・老人会・婦人会・民生委員等の協力があり、お弁当をつくり花見に出かけたり、敬老会に来て頂いたり、近隣の方と花火をして楽しむ等、交流を深めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価で見出された課題の改善計画が作られ実施していた。(災害対策での利用者の避難経路等)		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は平成18年度に2回開催されているが、今年度はまだ開催されていない。	○	2ヶ月に1回の開催が求められる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	市の担当者には、書類の提出時に指導や助言を受け、その機会に事業所の実情やケアサービスについてを伝えている。	○	地域密着型サービスとして、これを機により積極的な連携を期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	毎月、担当スタッフがホーム便りで暮らしぶりや、健康状態を報告し、金銭管理は出納帳に記入して家族にサインをしてもらっている。		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	毎月のホーム便りから寄せられる意見や相談を吸い上げている。意見箱を設置しているが、今までに利用は無かった。家族等から直接職員に話してもらい対処するよう留意している。また、時間を要する内容は、十分検討して体制の見直しをしている。		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	各ユニットごとに職員の異動は最小限にしている。異動、離職でやむを得ない場合は、負担のかからないよう最善の努力をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	職員が法人内の研修会に参加し、感染予防・栄養管理等の研修内容を共有している。	○	研修報告書の内容を全職員が共有できるよう、全職員の確認印が望まれる。
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	同業者の管理者会議に出席し、交流の機会を持っている。	○	管理者の集いを機会に、事業者同士協働しながら質の向上に取り組むことを今後期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族から、本人の生活歴・日常生活・趣味・嗜好等、より多くの情報を得て自然にホームに慣れるよう配慮し、工夫をしている。また、事前に、ホームでの時間が過ごせるような取り組みを考えている。入居時の自己紹介を大切に、見守りしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	古くからの習慣や遊びを教えてもらったり、料理の味付け、縫い物等、共に支え合える関係づくりに留意している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の暮らしの中での声かけや話しの中で、希望や思いの把握に努めている。利用者の友人の見舞いや、帰宅を計画するなど、実現には至らなかったが希望や意向を把握するよう取り組んでいる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者、家族の要望を反映させ、医師、理学療法士、栄養士の助言も活かしている。アセスメントを含め毎月のモニタリング、カンファレンスを開催し、計画の達成度や今後のケアについて検討している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じて見直しをしている。心身の状態に変化があった場合や、目標に近づけなかった場合などは、本人、家族、関係者の意見を聞き、スタッフ全員で話し合い新たな計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	母体の医療法人より専門医師の往診があり、看護職の訪問で、健康管理や相談等の支援がある。また、休日には訓練室の設備も使用可能で、その都度柔軟な支援をしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体の病院への受診、他に眼科、皮膚科、歯科等、希望する医療機関への受診も支援をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期のあり方について、本人や家族、母体病院の医師と話し合いを行い、口答・文書等で方針を共有している。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の言葉かけや対応について、ミーティング等で話しあわれている。	○	今後も職員間で十分な話し合いを持ち、より良い対応や言葉かけについて話しあい、支援に取り組まれない。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに合わせているが、スケジュールの変更が困難な時もある。出来るだけ希望に沿って支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養士による献立であるが、一品だけはホームで準備している。お誕生会では、利用者の好みの食事を作ったり、外食になったりもする。冬場は鍋に変更したり、利用者の体調に合わせてたりと柔軟に対応している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望や体調に合わせて入浴支援をしている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や、趣味を活かした裁縫・習字・ゴミ箱作り・洗濯ものたたみ・台拭き・花の水やり等、楽しみながら支援をしている。日曜日には、歌の好きな利用者が集まりコーラスを楽しんでいる		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	季節ごとに野山へドライブに出かけたり、近くの神社参り、郊外の大型店に買物に出かけたりしている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関先が直ぐ道路に面し、交通量も多くオートロックであるが、職員は鍵をかけることの弊害を理解している。	○	利用者の居室の窓に、利用者に見えないようなロックがあり、確認すると、行政(市)の指導の下に付けたとの返答があった。利用者の尊厳に関わる事と、災害時に大変危険であると考えます。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策のマニュアルを作成し、年2回の避難訓練を実施している。地域での集まりにも参加して、災害時の一時避難場所の確保もある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		○栄養摂取や水分確保の支援			
28	77	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の献立表を基本に、一品だけ利用者の好みに合わせてホームで調理している。食事摂取量、水分量を把握した記録や、毎月の体重変化を記載し、医師、看護師からの助言を得ながら支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
		○居心地のよい共用空間づくり			
29	81	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関周りのプランターに花を植えたり、台所・食堂に季節の生花を飾っている。メダカの世話をしている入居者の姿が見られた。天気の良い日に、室外にテーブルを置き、お茶を楽しむ工夫をしている。		
		○居心地よく過ごせる居室の配慮			
30	83	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者一人ひとりの好みの物が置かれている。家族からのプレゼントや、家族と一緒に写真や家具、新しく生活を始めた時に買った物品等、本人が居心地よく過ごせるよう工夫している。家族の方が一緒に泊まり、数日を過ごされることもある。		